

●自己紹介

●学校の様子の紹介

- ・教頭より
- ・教務より

●校長より運営基本方針

●年間計画について

●運営委員のみなさんのご意見

真壁委員

- ・学校の様子を見てみると、落ち着いて見えるが表面に出てこない問題がある。子育てに困る親が増えている。
- ・土下座を強要する子どもの背景をひもといていくと、父親がその子に土下座を強要させていたという経緯あり。親自身の教育観を周りが指導していく必要がある。

谷川委員

- ・このコロナの3年間で、子ども同士・子どもたちと先生たちとの距離感が出てきたように感じる。若い先生方のスキルがとても心配。見えないものが、活動を通して、課題として見えてくるが多かったが、見えないままになっていないかが心配。

小田島委員

- ・コロナ禍の3年間で小さな経験の積み重ねがぬけている。小学校で綱引きのやり方も実際見てもないのでわからない。保護者同士の関わり方が希薄なので、ちょっとしたことを確かめもしないで大きくなっているような気がする。

山田委員

- ・修学旅行が延泊で先生方が大変な思いをされたと言うが、教員が頑張っていて自分たちのために頑張っているという様子は必ず見ているし、伝わっている。
- ・ひかり級が学区を選択できることについて、特別支援学級のことをもう少し詳しく知りたい。

猪狩委員

- ・高校の学校祭は例年先輩たちからやり方を学び、見たりしながら情報を引き継いでいったが、生徒が先生たちにやり方をきいてくるので、先生たちが四苦八苦している。
- ・大雄山から茅ヶ崎まで歩くナイトハイクについて、「活動自体は辛いけど、達成感を持つことの大切さを学ぶ」を目標にやっていたが、活動が復活することに対して、先生たちの間で否定的な意見があった。
- ・家庭訪問の意義とはなにかについて知りたい。

今井委員

- ・授業参観にこれだけの保護者が来る学校は少ない。なにがしかの形で学校に関わりたい保護者も多いのではないかな。
- ・大学でもゲームをやっている学生が多いが、ゲームに遊ばれている（中毒）目の前の魅力的なことが多くあれば、子どもたちはついてくるし、食らいついてくる。

渡部委員

- ・自分たちの意見がどのように活かされているのかが気になる。
- ・ますますの変化が求められる中で、伝統を大切にしている視点も大切である。